

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成30年8月10日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期（自平成30年4月1日至平成30年6月30日）
【会社名】	協立エアテック株式会社
【英訳名】	KYORITSU AIR TECH INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久野 幸男
【本店の所在の場所】	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田1034番地の4
【電話番号】	092(947)6101
【事務連絡者氏名】	経理部 次長 星野 辰夫
【最寄りの連絡場所】	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田1034番地の4
【電話番号】	092(947)6101
【事務連絡者氏名】	経理部 次長 星野 辰夫
【縦覧に供する場所】	協立エアテック株式会社 東京支店 （東京都江戸川区松江7丁目6番9号） 協立エアテック株式会社 名古屋支店 （愛知県弥富市鯨ヶ地3丁目73番地1） 協立エアテック株式会社 大阪支店 （大阪府東大阪市高井田27番2号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成29年 1月1日 至平成29年 6月30日	自平成30年 1月1日 至平成30年 6月30日	自平成29年 1月1日 至平成29年 12月31日
売上高 (千円)	4,008,318	4,684,202	8,827,332
経常利益 (千円)	258,695	440,818	713,743
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益金額 (千円)	164,911	292,361	469,437
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	200,503	278,202	564,639
純資産額 (千円)	5,110,226	5,663,526	5,474,308
総資産額 (千円)	9,937,662	11,053,130	10,746,286
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	34.64	61.39	98.61
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	51.4	51.2	50.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	53,097	702,127	364,255
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	417,811	34,712	501,198
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	101,036	151,396	108,098
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	2,045,228	2,782,343	2,271,417

回次	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成29年 4月1日 至平成29年 6月30日	自平成30年 4月1日 至平成30年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	13.53	27.60

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善など穏やかながら回復傾向となり設備投資に持ち直しの動きがみられました。また、国外では、米国の保守主義的な経済政策や地政学的なリスクの高まり、原油高など経済全体の先行きについては不透明な状況で推移しました。

当社グループが関連いたします建設市場におきましては、復興関連事業や2020年のオリンピック・パラリンピックの建設需要で公共投資及び民間設備投資は堅調に推移しておりますが、労務費や材料費などの高騰の影響で、厳しい受注環境が続いております。

また、住宅投資につきましては、金融緩和や政府による各種施策が継続的に行われ、住宅ローンも引き続き低金利の状況で住宅取得環境は良好な状態が続いておりますが、新設住宅着工戸数は減少傾向で推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは当初売り上げ目標と利益確保を最重要課題とした受注活動に取り組んでまいりました。その結果、売上高46億84百万円（前年同期比16.9%増）、営業利益4億28百万円（前年同期比73.7%増）、経常利益4億40百万円（前年同期比70.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億92百万円（前年同期比77.3%増）となりました。

（2）財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ3億6百万円増加し、110億53百万円となりました。これは主に現金及び預金並びに商品及び製品の増加、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ1億17百万円増加し、53億89百万円となりました。これは主に未払法人税等並びに賞与引当金の増加、支払手形及び買掛金の減少によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1億89百万円増加し、56億63百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加、配当金の支払いによるものです。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前第2四半期連結会計期間末と比較して、7億37百万円増加し、27億82百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は7億2百万円（前年同四半期53百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、売上債権及び仕入債務の減少、賞与引当金の増加並びに法人税等の支払いによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は34百万円（前年同四半期4億17百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は1億51百万円（前年同四半期1億1百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の返済及び配当金の支払いによるものです。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（5）研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は20百万円となっております。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,663,400
計	20,663,400

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成30年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,000,000	6,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	6,000,000	6,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成30年4月1日～ 平成30年6月30日	-	6,000	-	1,683,378	-	639,458

(6)【大株主の状況】

平成30年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
協立エアテック社員持株会	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田1034-4	666	11.10
久野 幸男	福岡県糟屋郡篠栗町	505	8.43
住友生命保険相互会社 (常任代理人 日本トラスティ・ サービス信託銀行株式会社)	東京都中央区晴海1丁目8-11	370	6.17
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3丁目1-1	237	3.96
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2丁目13-1	234	3.91
協立エアテック協栄会	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田1034-4	234	3.90
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス信 託銀行株式会社)	東京都中央区晴海1丁目8-12	158	2.64
株式会社南陽	福岡市博多区博多駅前3丁目19番8号	144	2.41
福岡商事株式会社	福岡市中央区大名2丁目2-26	118	1.97
徳永 研介	福岡市博多区	78	1.31
計	-	2,750	45.84

(注)上記のほか、自己株式が1,231千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成30年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,231,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,767,300	47,673	-
単元未満株式	普通株式 800	-	-
発行済株式総数	6,000,000	-	-
総株主の議決権	-	47,673	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式500株(議決権の数5個)が含まれております。

2. 「単元未満株式」の中には、当社所有自己株式80株が含まれております。

【自己株式等】

平成30年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 協立エアテック株式会社	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田1034-4	1,231,900	-	1,231,900	20.53
計	-	1,231,900	-	1,231,900	20.53

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,271,417	2,782,343
受取手形及び売掛金	2,013,080	1,840,606
電子記録債権	1,519,921	1,435,492
商品及び製品	547,504	619,614
仕掛品	17,042	27,480
原材料及び貯蔵品	449,449	433,769
繰延税金資産	24,465	93,797
その他	82,362	75,293
貸倒引当金	5,542	5,430
流動資産合計	6,919,702	7,302,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,076,148	1,040,243
機械装置及び運搬具(純額)	288,158	273,136
土地	1,906,430	1,906,430
建設仮勘定	1,133	2,221
その他(純額)	81,593	67,036
有形固定資産合計	3,353,464	3,289,069
無形固定資産		
その他	18,676	17,737
無形固定資産合計	18,676	17,737
投資その他の資産		
投資有価証券	1,336,377	1,313,075
長期貸付金	6,850	6,643
繰延税金資産	49,156	60,336
その他	64,105	65,343
貸倒引当金	2,046	2,042
投資その他の資産合計	454,442	443,356
固定資産合計	3,826,583	3,750,163
資産合計	10,746,286	11,053,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,053,225	1,921,341
短期借入金	1,800,000	1,750,000
未払金	256,395	209,363
未払法人税等	123,645	246,401
賞与引当金	40,663	224,448
その他	221,312	250,345
流動負債合計	4,495,242	4,601,899
固定負債		
繰延税金負債	3,040	3,040
退職給付に係る負債	604,744	622,822
長期未払金	58,375	58,375
製品保証引当金	37,399	36,802
長期預り保証金	38,545	38,545
資産除去債務	5,449	5,469
その他	29,180	22,650
固定負債合計	776,735	787,704
負債合計	5,271,978	5,389,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,683,378	1,683,378
資本剰余金	1,586,811	1,590,088
利益剰余金	2,714,687	2,911,842
自己株式	510,241	507,297
株主資本合計	5,474,634	5,678,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,007	127,151
為替換算調整勘定	23,169	16,610
退職給付に係る調整累計額	169,503	158,247
その他の包括利益累計額合計	326	14,484
純資産合計	5,474,308	5,663,526
負債純資産合計	10,746,286	11,053,130

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 1月 1 日 至 平成29年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成30年 1月 1 日 至 平成30年 6月30日)
売上高	4,008,318	4,684,202
売上原価	2,815,281	3,280,044
売上総利益	1,193,037	1,404,157
販売費及び一般管理費	1,946,536	1,976,049
営業利益	246,501	428,108
営業外収益		
受取利息	330	472
受取配当金	1,350	1,585
スクラップ売却収入	6,492	7,694
受取家賃	2,472	2,472
雑収入	4,562	3,585
営業外収益合計	15,208	15,809
営業外費用		
支払利息	2,747	2,876
雑損失	266	223
営業外費用合計	3,013	3,099
経常利益	258,695	440,818
特別利益		
固定資産売却益	85	-
特別利益合計	85	-
特別損失		
固定資産除却損	80	0
特別損失合計	80	0
税金等調整前四半期純利益	258,699	440,818
法人税、住民税及び事業税	145,905	224,176
法人税等調整額	52,117	75,719
法人税等合計	93,787	148,456
四半期純利益	164,911	292,361
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,911	292,361

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	164,911	292,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,135	18,855
為替換算調整勘定	2,553	6,558
退職給付に係る調整額	14,008	11,255
その他の包括利益合計	35,591	14,158
四半期包括利益	200,503	278,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,503	278,202
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	258,699	440,818
減価償却費	95,349	98,161
貸倒引当金の増減額(は減少)	18	116
製品保証引当金の増減額(は減少)	741	597
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	32,169	32,052
賞与引当金の増減額(は減少)	181,372	183,785
有形固定資産除売却損益(は益)	4	0
受取利息及び受取配当金	1,681	2,057
支払利息	2,747	2,876
売上債権の増減額(は増加)	107,909	255,528
たな卸資産の増減額(は増加)	57,806	68,571
仕入債務の増減額(は減少)	200,522	126,025
未払消費税等の増減額(は減少)	22,878	60,265
その他	157,399	57,245
小計	237,196	818,875
利息及び配当金の受取額	1,681	2,057
利息の支払額	2,749	2,864
法人税等の支払額	183,029	115,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,097	702,127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	405,803	28,972
有形固定資産の売却による収入	128	-
投資有価証券の取得による支出	10,065	3,064
貸付金の回収による収入	560	204
その他	2,632	2,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	417,811	34,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	50,000
自己株式の取得による支出	16	-
配当金の支払額	94,489	94,865
その他	6,530	6,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,036	151,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,849	5,093
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	467,599	510,926
現金及び現金同等物の期首残高	2,512,828	2,271,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,045,228	1 2,782,343

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 関係会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
投資有価証券	16,000千円	19,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
発送配達費	231,286千円	252,143千円
給与	271,357	272,507
賞与引当金繰入額	75,163	75,303
退職給付費用	21,847	21,813

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
現金及び預金勘定	2,045,228千円	2,782,343千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	2,045,228	2,782,343

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月29日 定時株主総会	普通株式	95,208	20.0	平成28年12月31日	平成29年3月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月28日 定時株主総会	普通株式	95,206	20.0	平成29年12月31日	平成30年3月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

当社グループは、空調・防災関連機器の製造販売並びにこれらに付帯する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

当社グループは、空調・防災関連機器の製造販売並びにこれらに付帯する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 1月 1日 至 平成29年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成30年 1月 1日 至 平成30年 6月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	34円64銭	61円39銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	164,911	292,361
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額 (千円)	164,911	292,361
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,760,415	4,762,660

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年 8 月 8 日

協立エアテック株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高木 勇 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 土居 一彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている協立エアテック株式会社の平成30年1月1日から平成30年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、協立エアテック株式会社及び連結子会社の平成30年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。